

# 守谷ボランティア NEWS

2023年7月号(毎月1日発行)



<発行> 守谷市民活動支援センター  
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1  
守谷市市民交流プラザ2階  
電話: 0297-46-3370 FAX: 0297-46-3320  
Email: moriyaborantia1@themis.ocn.ne.jp  
ホームページURL: <https://moriya-cac.org/>  
開館時間: 午前10時~午後6時(午後9時まで延長可)  
休館日: 月曜日、年末年始

## もりサポ塾の先生と昆虫博士の中学生が教える「夏休み親子カブトムシ教室」

夏休みに親子で参加するカブトムシ教室を開催します。カブトムシが好きな樹木や市内の採取絶好ポイント、裏ワザなどを教えます。みなさんの参加をお待ちしています。

- 日時 7月30日(日) 10:30~12:00
- 会場 市民活動支援センター会議室
- 定員 先着15組30人 ●対象 未就学児から小学生
- 申込方法 申込フォームから7月15日(土)10時~受付開始
- 講師 もりサポ塾(たもつ先生、けいこ先生、ゆうも君)
- 主催・問合せ先 市民活動支援センター



申込フォーム



## 市民活動支援センター「夏休みボランティア募集」

ボランティアに興味のある市民の皆さん、夏休み中に体験したいと考えている学生の皆さん、一緒に活動してみませんか。ボランティア証明書を発行します。



※詳細はHPに掲載

## 人生最後の書道展 書家 増井 稠(しげし)

書家・稠と画家・久恵の2人は、今年そろって88歳を迎えます。人生最後の書道展をご覧ください。

- 期間 7月1日(土)~30日(日)
- 会場 市民活動支援センターフリースペース
- 問合せ先 市民活動支援センター



## 「公益活動継続応援助成」2次募集開始!

団体の活動を安定的に継続させるため、応募資格を満たす団体であれば、どなたでも応募できます。申請は簡単! 20,000円の活動資金を得るチャンスです。新規団体設立のサポートもします。ぜひ助成金を活用して、団体活動を推進しましょう。

- 応募資格** ・市内で公益活動を行っている、もしくは行おうとしている会員5人以上の団体  
・活動が団体構成員のみを対象としたものではない団体  
・市およびまちづくり協議会から補助金などを受けていない団体  
・本協会に登録している団体、もしくは登録予定の団体(申請時に団体の新規登録が可能です)
- 助成内容** 「公益活動継続応援助成」(難易度★☆☆) 上限額 20,000円/団体
- 申請期間** 7月11日(火)~8月20日(日)  
申請書は市民活動支援センターのホームページまたは窓口で配布  
※申請書類の記入方法等については、スタッフに遠慮なくご相談ください
- 申請・問合せ先** もりや公益活動促進協会(事務局: 守谷市民活動支援センター)  
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5-25-1 守谷市市民交流プラザ2階  
☎ 46-3370 FAX 46-3320



### 公益活動とは

市民や市民活動団体の自発的な参加によって行われる公益性のある活動です。具体的には、「地域課題の解決や価値創造に結びつく」「担い手に多くの市民参加が見込める」「市民や社会の利益増進につながる」活動です。

**もりや公益活動促進協会** [協会の登録会員] 団体: 86 会員・個人: 1 会員 計 87 会員

※ 新規会員の登録は、市民活動支援センターにて受け付けます。

※ 会員登録により助成が確定するものではありません。

**[活動内容]** ・市内において公益活動を行う団体の設立および運営サポート

・公益活動を行う団体同士の情報交換の場を設けます。また、活動が活発化するよう研修などを企画・実施します。

## 豆コラ庭園シリーズ②

平安時代の貴族の邸宅を「寝殿造」といいます。寝殿の正面には階(きざはし)があり、建物に入る出入口として使用されていました。庭は、儀式や年中行事として利用。庇や釣殿から眺める作りになっています。そのため寝殿の南庭を隔てて池を作り、中島を築き、池に臨んで釣殿を設けます。庭には遣水(水を導き流れるようにしたもの)をひき、多くの岩石草木等を配し風致を添えました。水は北東から入れ南西に流出させています。また、野筋には前栽植えて、虫を放ちました。

平安時代の中期になると、阿弥陀如来を中心として極楽浄土を理想とする浄土信仰が盛んになります。そのため庭園は、極楽浄土を表現する浄土式庭園という様式に変化しました。浄土式庭園は、西に阿弥陀堂を建て浄土とし、東から庭を眺めて現世とする造りになっています。東から昇る日の出を大切にするという思考です。そして、西に日が沈む時は、阿弥陀堂が夕日で放射線状に光って見える光景になります。



# こんにちは！守谷のボランティアさん

## 「もりや市民大学友の会」のイベントに参加しました

2023年3月16日 木曜日 9時30分から14時00分

@清水公園

「もりや市民大学友の会」は「もりや市民大学」の運営を支援するボランティア団体です。毎月10日に“友カフェ”を開催して会員同士の親睦を深めるとともに、市民大学のテーマ探索のために月1回の頻度で様々な場所の見学会を企画しています。

今回は、3年ぶりに「友の会」の企画部会のイベントとして、千葉県野田市にある清水公園の散策に参加しました。

守谷駅9時集合。参加者は13名。つくばエクスプレスから東武アーバンパークラインに乗り換えて、およそ1時間で清水公園駅に到着です。



まだ咲き始めの桜並木を抜けると、10分ほどで清水公園の正面入口となります。

清水公園は約130年前の1894年に開園。面積は28万平方メートルで東京ドーム6個分の大きさです。

さあ、そろそろと散策開始。有名な「劫初の桜」は周辺より少し開花が進んでいて3分咲きの姿で歓迎してくれました。



とても広い公園なのですが、案内役の澤田さんについて行くと、全く迷うこともなく最適なコース取りで散策を進めることができました。理由を尋ねると、幹事の方が1ヶ月前に下見をしているとのこと。1ヶ月前って、まだ寒く、ほとんど桜が咲いていない寒い時期ですよ。感謝ですね。

さて、散策で出会った素敵な瞬間をご紹介します。きれいな小川に花びらが浮かび、川底には影が映っていました。水面の花びらとミッキーのような影です。



早春のいろいろな花に囲まれて、天候にも恵まれ、爽快で快適な散策が楽しめました。



夏には納涼会、秋には鹿島神宮方面へのバスツアーを計画しています。市民大学友の会の皆様、大変ありがとうございました。